

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質等（地下水及び河川水）の測定を実施しています。昨年3月から本年8月までの調査結果については、これまでと同様、異常は認められませんでした。

調査結果は、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。



阿茂瀬川



観測井No. 1

環境学習(出前講座)を行いました！

6月に、樋脇小学校4年生の社会科見学の 일환として、エコパークかごしまの出前講座を行いました。

出前講座では、子ども達から次々と質問が寄せられ、一般廃棄物と産業廃棄物の違いなどを楽しく学んでいただきました。

なお、エコパークかごしまでは、随時、見学者を募集しています。子どもから大人までお気軽にご連絡ください！



☆おしらせ☆

平成30年7月1日付けで当社の理事長に山下隆志が就任しました。

また、前理事長の新川龍郎は顧問に就任しました。

引き続き、安心・安全を第一とした施設の運営、廃棄物の適正処理に努めてまいります。

【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11

TEL/FAX 0996-21-1220/0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当会社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)でもご覧いただけます。

エコパークかごしま通信

VOL.24



平成30年10月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

「エコパークかごしま安全監視委員会」について



本年8月30日に第10回「エコパークかごしま安全監視委員会（委員長：平田登基 男鹿児島工業高等専門学校名誉教授）」が開催されました。

委員会では、当社から廃棄物の搬入状況や埋立作業の状況、環境モニタリングの結果について報告を受けた後、覆蓋施設内の散水や埋立作業の状況を確認しました。

会議終了後、平田委員長は、「委員会として、エコパークかごしまが安全に稼働していることを確認した。」とコメントされました。

廃棄物の受入状況について

平成27年1月の開業から本年8月末までに約10万9千トンの廃棄物を受け入れました。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻が約38%で約3万8千トン、がれき類（廃石膏ボード含む）が約24%で約2万4千トン、汚泥が約19%で約1万9千トンなどとなっています。

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	38,247.78	37.90
汚泥	19,018.06	18.85
廃プラスチック	884.92	0.88
紙くず	181.09	0.18
木くず	5,440.91	5.39
繊維くず	190.48	0.19
動植物性残さ	86.33	0.09
ゴムくず	0.00	0.00
金属くず	25.68	0.03
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	7,278.35	7.21
鋳さい	278.23	0.28
がれき類	24,333.69	24.11
ばいじん	4,403.98	4.36
13号廃棄物	539.26	0.53
合計	100,908.76	100.00

教えて！エコパーク先生！

みなさんこんにちは！
 前は、「エコパークかごしま」の施設について勉強しましたね。
 今回は鹿児島県の産業廃棄物の実態、それから、「エコパークかごしま」への搬入について勉強しましょう。



鹿児島県の産業廃棄物の量



工場や工事現場などから

年間約 **824** 万トン

産業廃棄物



家庭から出るごみ

年間約 **52** 万トン

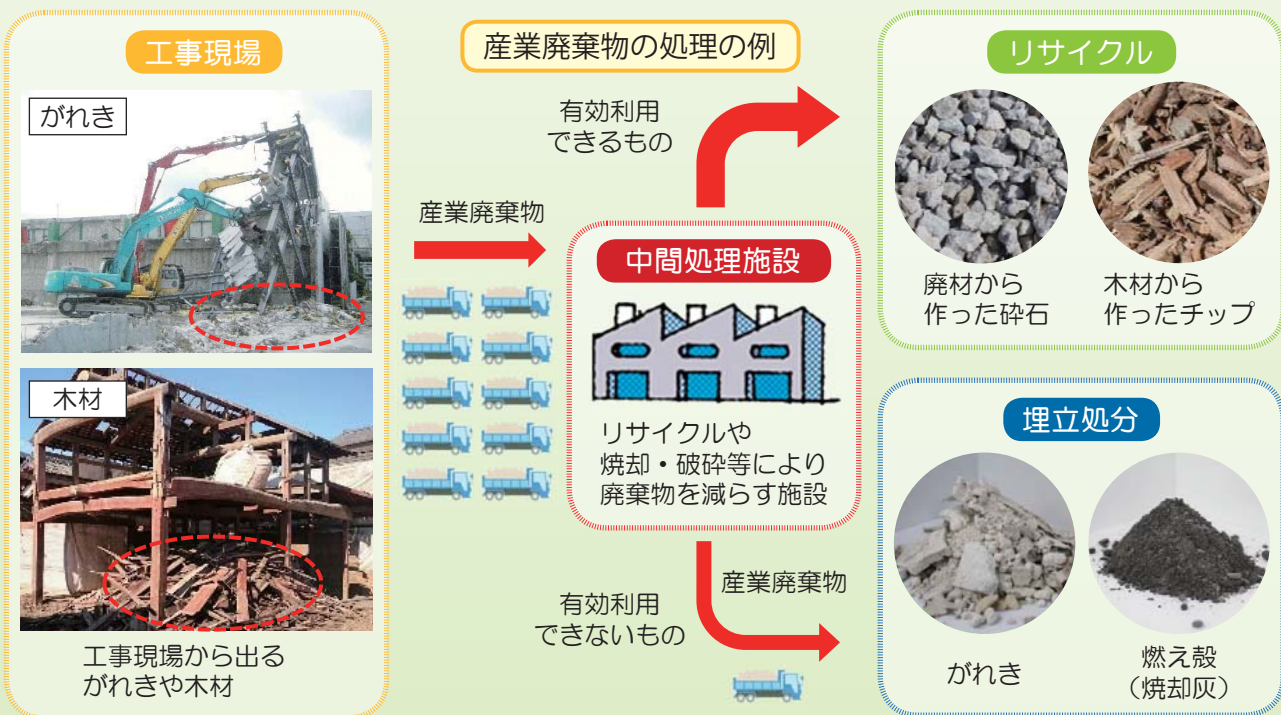
一般廃棄物

※出典：鹿児島県産業廃棄物処理計画（平成28年3月）
 平成32年度の産業廃棄物の将来予測



僕たちの家庭から出る一般廃棄物より、工場や工事現場から出る産業廃棄物の方が、ずっと多いんだね。

そうなんです。でも、その全部を「埋立処分」するわけではありません。
 「産業廃棄物」824万トンのうち、578万トンは有効利用（リサイクル）
 されます。残りは燃やすなどして量を減らし、残った9.9万トンについて、
 安定型最終処分場や管理型最終処分場（エコパークかごしま）などで「埋立
 処分」が行われることになります。



「エコパークかごしま」に入ってくる産業廃棄物



「エコパークかごしま」は「なんでも捨てていい」施設ではありません。
 例えば、爆発したり火が出るような危険なものや、臭いのひどいものは捨てることができません。
 そこで、入ってくる産業廃棄物を調べる必要があります。

どんなことを調べるの？



「エコパークかごしま」では、産業廃棄物を持ち込む業者の方と契約を結ぶ際に産業廃棄物のサンプル検査を行い、「受入基準に適合しているかどうか」などを事前に調べています。
 また、実際に持ち込まれる際にも契約どおりの産業廃棄物かどうかをチェックします。

「エコパークかごしま」に産業廃棄物を持ち込む時の流れ



まずは、入ってきたときに、産業廃棄物を積んだトラックの重さを量ります。



トラックの荷台に積まれた産業廃棄物の中身を目で見て、契約どおりの産業廃棄物かどうかを調べます。



産業廃棄物を降ろしたトラックは洗車設備で、タイヤについた産業廃棄物をしっかりと洗い流します。



トラックから産業廃棄物を降ろして、契約どおりの産業廃棄物かどうかを、もう一回広げて調べます。
 ほかの産業廃棄物が混ざっていた場合は、トラックに積んで持って帰ってもらいます。



帰るときにもう一回、空になったトラックの重さを量ります。
 入ってきたときの重さから、帰るときにの重さを引いて、「エコパークかごしま」に持ち込まれた産業廃棄物の量を計算します。